文化财纸上企画展(1)



【石器】

人類は石器の使用により、食料を獲得する幅が広がりました。 自然環境の変化とともに、多くの種類の石器が作られました。







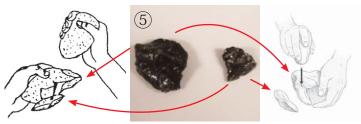


- ①すり石・石皿 クリやクル ミなどの木の実をすり潰す ために使用されました。
- ②土堀り具(打製石器)
- ③石斧 (磨製石器)
- (①②③ともに出土地不明)





矢の先につける石器。弓矢の使用により動きのすばや い中型・小型動物(シカ・イノシシなど)を捕獲しやすく なりました。(縄文時代・約8500年前 下堀遺跡・岡別府)



⑤石核(左)と剥片(右)石核を打ちかき剥片をとりだし、 その剥片が石器になりました。 (縄文時代・約8500年前 下堀遺跡・岡別府)

【土器】

土器の発明により、煮るという調理法や木の実のあく 抜きが可能になり、食材のバリエーションが増え、また 食材をやわらかくして食する方法が採れるようになりま した。そして人口の増大につながりました。土器作りは、 様々に工夫されより薄く、より軽く、より強く変化して いきました。





①深鉢形土器 (縄文時代) 約 8500 年前 下堀遺跡 • 岡別府





③ 競(弥生時代) 約 2000 年前 下堀遺跡・岡別府

④甕 (古墳時代) 約 1500 年前 沢目遺跡·益丸

甕は煮炊き用土器 壺は貯蔵用土器

- ~土器の作り方~
- ①素地作り=粘土に土を混ぜて練る
- ②土器の底を作る
- ③粘土ひもを積み上げる
- ④成形・調整を行う
- ⑤模様をつける
- ⑥乾燥させる
- ⑦焼く





先人たちは、より良く生きたいという想いから、様々なものをつくり出してきました。 私たちはこれからどのようなことを想い、どのようなものをつくり出していくのでしょうか。

大崎町教育委員会・古田